

1-3					
主題	101 歳入居者における「孫の結婚式に行きたい！！」の希望を叶えた実践研究				
副題	お孫様結婚式参列支援を通じた多職種連携と QOL 向上の一事例―				
キーワード 1	希望実現支援	キーワード 2	QOL の向上	研究(実践)期間	2 ヶ月

法人名	社福) 四葉晃耀会	事業所名	特別養護老人ホーム ブルーポピー
発表者(職種)	山口勇介(介護主任)		
共同研究(実践)者	三枝沙佳(介護職員)		

電 話	03-5904-0220	FAX	03-5904-0234
-----	--------------	-----	--------------

事業所紹介	平成 17 年、板橋区で初めての全室個室・ユニットケア方式を採用した特別養護老人ホームとしてブルーポピーを開設。私たちの施設の名前「ブルーポピー」は、ヒマラヤの雄大な自然のなかで、凛々しく、強く咲く花の名前。この名前に込めた「お年寄りの人生の最期をあたたかで輝けるものになりたい」という想いを、丁寧な介護で実現しています。
-------	---

《1. 研究(実践)前の状況と課題》

高齢者施設入居者において、外出や人生の重要な節目となるイベントへの参加は、転倒・体調悪化・急変等のリスクが高く、実現困難な場合が多い。そのため、本人の希望があっても「安全性」を優先し外出支援が控えられる傾向にある。

本事例の対象者は特別養護老人ホーム入居中の 101 歳女性であり、1 月上旬より活気低下が認められ点滴治療が開始された。身体的リスクが高い状況であったが、「孫の結婚式には絶対に行きたい」という強い希望を表明した。しかし、超高齢・体力低下・医療的管理下という条件から、外出支援の可否判断、リスク管理体制、外出後のケア体制が明確でないことが課題であった。

《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》

本研究(実践)の目的は、超高齢入居者が希望するお孫様結婚式の参列支援を多職種連携により実施し、その有効性および課題を明らかにすることである。仮説として、

- 1) 明確な人生目標の提示は超高齢者の意欲向上および活気回復に寄与する
- 2) 多職種連携によるリスクマネジメント体制により、安全な外出支援が可能となると設定した。

《3. 具体的な取り組みの内容》

本人・家族・介護職・看護師により目標を共有し、「無理なく希望を実現する」を支援コンセプトとした。具体的な取り組みは以下の通りである。

- ・身体的管理の強化
栄養・水分管理の強化、休養調整を行い体力維持を図った。
- ・精神的支援
結婚式の話提供や家族面会の調整により心理的意欲の向上を図った。

- ・リスク管理体制の構築

看護師同行による外出支援、関連医療機関への事前連絡により急変時対応体制を確保した。

- ・結婚式当日の状態および帰設後の経過を観察し、本人・家族・職員の反応を記録した。

《4. 取り組みの結果》

身体的経過

- ・1月上旬の活気低下後、結婚式への期待を背景に活気の回復が認められた
- ・結婚式当日は体調が安定し参列が可能であった
- ・帰設後は一時的な疲労および傾眠がみられたが、1日休養後に回復した
- ・その後も大きな体調変化なく経過した

心理・社会的側面

- ・本人より「孫の晴れ姿を見られてよかった」「行けてよかった」と満足の言葉が得られた
- ・家族より「皆さんのおかげで無事に行けました」と感謝の言葉が得られた
- ・職員間で希望実現支援の達成感と多職種連携の重要性が共有された

《5. 考察、まとめ》

本事例では、超高齢・身体機能低下というハイリスク状況下であっても、本人の強い希望をケア目標として位置づけ、多職種連携によるリスクマネジメントを行うことで人生イベントへの参加が可能となった。特に、結婚式参列という明確な人生目標が本人の意欲向上につながり、活気回復に寄与した点は、心理的要因が身体機能に影響を与える可能性を示唆する。また、事前に医療機関と連携し急変時対応体制を構築したことは、職員の不安軽減と安全な外出支援の実現に寄与した。一方で、外出後の疲労増強など身体的負荷が認められたため、今後は外出後ケア計画の標準化および外出支援プロトコル整備が課題である。本事例から、超高齢者においても本人の人生の節目となる希望を支援することは、QOL 向上および生きる意欲維持に有効である可能性が示された。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人（ご家族）に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得た。

《7. 参考文献》

- 1) 厚生労働省：介護保険施設における高齢者の QOL 向上に関する指針
- 2) 日本老年看護学会：高齢者の意思決定支援に関するガイドライン
- 3) 日本老年医学会：高齢者外出支援とリスク管理に関する提言

《8. 提案と発信》

本事例を通じ、超高齢入居者においても人生の節目となる希望実現支援は可能であり、本人の意欲向上および QOL 向上に寄与することが示唆された。

今後は、

- ・外出支援リスク評価指標の開発
- ・外出支援プロトコルの標準化
- ・多職種連携マニュアルの整備

を行い、希望実現支援を施設全体のケアモデルとして体系化し発信していく。